

2022年1月27日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫
 (コード番号: 4578 東証一部)
 問合せ先 IR部長 小暮 雄二
 (TEL 03-6361-7411)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日に公表しました2021年12月期(2021年1月1日～12月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正します。

記

2021年12月期の連結業績予想数値の修正

| | 売上収益 | 事業利益 | 営業利益 | 税引前 当期利益 | 当期利益 | 親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 | 基本的1 株当たり 当期利益 |
|---------------------------|-----------|---------|---------|-------------|---------|------------------------------|----------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 前回発表予想(A) | 1,480,000 | 200,000 | 203,000 | 210,000 | 165,000 | 161,000 | 296.84 |
| 今回修正予想(B) | 1,498,000 | 157,000 | 154,000 | 163,000 | 129,000 | 125,000 | 230.46 |
| 増減額(B-A) | 18,000 | ▲43,000 | ▲49,000 | ▲47,000 | ▲36,000 | ▲36,000 | |
| 増減率(%) | 1.2% | ▲21.5% | ▲24.1% | ▲22.4% | ▲21.8% | ▲22.4% | |
| (ご参考) 前期実績 (2020年12月期) | 1,422,826 | 216,887 | 198,582 | 189,988 | 151,733 | 148,137 | 273.15 |

修正の理由

当第4四半期において、「トレムフィア」のコ・プロモーション契約に係る約80億円の売上原価増加、及び医療関連事業における棚卸資産の未実現利益の消去に係る円安による為替影響等、約100億円の一過性損失により売上原価の悪化が見込まれます。一方、現在、順調に売上を伸ばしているファーマバイト社の新ブランドへの2022年に向けた先行投資や、新薬の上市準備への積極的な先行投資の実施、及び大日本住友製薬(株)とサノビオン社との共同開発及び販売に関するライセンス契約締結に基づく開発費等の研究開発費が増加した結果、事業利益は公表予想を下回る見込みとなりました。

さらに、センタナファジンに係る条件付対価の公正価値変動に伴うその他の費用や、固定資産の減損損失の計上が見込まれる影響などにより、営業利益は公表予想を下回る見込みとなりました。

税引前当期利益、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益の見通しは、前述の営業利益見通しの修正に伴い、下方修正する見込みとなりました。

なお、2021年12月期の連結業績実績および2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年2月10日の決算発表時にお知らせする予定です。

(注) 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

以上